

速報！安城の遺跡から

令和6年度 発掘調査結果

令和6年度に本市が実施した調査は、試掘・確認調査28件でした。今回はそのうち、昨年度から史跡整備がはじまった、国史跡本證寺境内(野寺町)で実施した調査について紹介します。



本證寺境内(南上空から)

大迫力！

戦国期の外堀

三河一向一揆の中心寺院だった本證寺。境内の周囲に堀を巡らせた当時の姿から、城郭寺院とも称されます。戦国期の本證寺を語る上で欠かせない、外堀の発掘調査を行いました。

ココがスゴイ！

愛知県内にある真宗寺院で、これほどの規模の堀が確認されているのは本證寺境内だけ！



内堀

土塁

ココがスゴイ！

断面はV形、斜面が急で、ちょっとやさっとじゃ登れません。防御を意識したと考えられます。

ココがスゴイ！

▲奥に内堀と土塁が見えます。土層を観察するために中央部分は残しています。

堀の幅は5m、深さは2.8m！底に立つと、数字以上にとても深く感じられます。



文化振興課からのお願い＆お知らせ

家を建てるときは一報を

市では、開発等でやむを得ず破壊される遺跡について、「文化財保護法」に基づき事前に発掘調査をしています。住宅建設等の開発工事を行う計画があれば、文化振興課まで連絡してください。

調査成果の展示

今回紹介した調査成果は、埋蔵文化財センターで展示しています(パンフレット有)。

●展示日時 (火)～(日)午前9時～午後5時
(月)が祝日の場合は開館、年末年始休館)